生徒指導栄養

～ 生徒指導を進めるための栄養源に ～

＃４１【自分支える足の声，聞いて】

ある日，見るからに落ち込んだ様子の女子中学生に対し，息子さんが１２歳で自死した経験を持つ作家の高史明（コサミョン）さんは，次のように話したそうです。

「死にたいって，君のどこが言ってるんだい。ここかい？」と頭を指さすと，こくりとうなずきます。（中略）でも，君が死ねば頭だけじゃなく，その手も足もぜんぶ死ぬ。まず手をひらいて相談しなきゃ。君はふだんは見えない足の裏で支えられて立っている。足の裏をよく洗って相談してみなさい。（中略）命は一つだから大切なのではなく，君が家族や友人たちと，その足がふみしめる大地でつながっている存在だから貴重なのです。切羽つまった時こそ，足の裏の声に耳を傾けてみてください。（朝日新聞ウェブサイトから引用）

これは，「いじめられている君へいじめている君へ」という本に収められているお話です。その他にも，あさのあつこさんやさかなクン，中村俊輔さんなどのメッセージも掲載されています。

そして，呉市中央図書館では，６月６日（金）から６月１８日（水）まで，この「いじめられている君へいじめている君へ」をはじめとして，「いじめ０（ゼロ）」をテーマにした本が企画展示されています。

令和７年６月１０日（火）

呉市教育委員会　学校安全課　生徒指導グループ